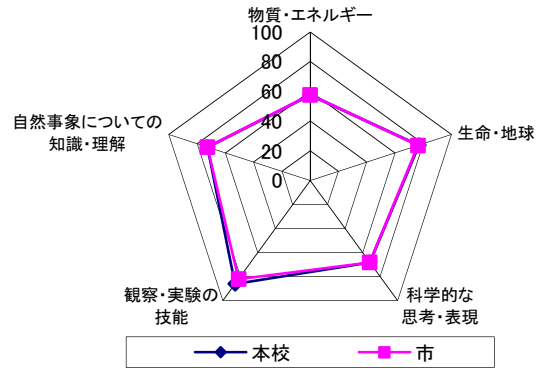


宇都宮市立豊郷中央小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	57.4	57.6
	生命・地球	76.8	76.3
観点別	科学的な思考・表現	68.1	68.1
	観察・実験の技能	86.0	82.0
	自然事象についての知識・理解	72.6	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率は、57.4%で市の平均とほとんど変わらず、低い数字となっている。 ○空気や水の体積変化については、85%以上の高い正答率だった。 ○水や金属の温まり方については、18.6%と低い正答率だった。 ○沸騰石や水蒸気に関する問題の正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ものの体積や温度、ものの温まり方といった既習事項について復習するとともに、系統的な学習をさらに充実させ、基礎的な事項の習得を図る。 ○物質が姿を変えることについての基本的な内容や、「沸騰石」といった専門用語をしっかりと身に付けさせていく。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率は、76.8%で市の平均を0.5%ほど上回っている。 ○植物の発芽と成長に関しては、条件を答える問題の正答率が90%以上と高かった。 ○魚の誕生や植物の花の作りと受粉の問題は、概ね高い正答率だった。 ○雲と天気の変化については、次の日の天気の変化を予測する問題の正答率が26.3%と低 	<ul style="list-style-type: none"> ○種子の発芽に必要な条件を満たす実験について復習するとともに、植物の成長に必要な条件についても振り返りをさせる。メダカの卵の成長の様子について、写真を使って振り返らせる。 ○天気の決め方について、雲の量が関係していることや、天気は西から東に向かって変わることを押さえ、その決まりをしっかりと理解させる。